

令和8年度 庄原市生徒指導主事等研修会

開催日：令和8年6月2日（火） 開催場所：庄原市総合体育館 第2会議室

生徒指導主事等としての役割を理解し、組織的・継続的な取組ができる生徒指導體制の確立を図るとともに、生徒指導主事等としての資質・能力の向上を図ることを目的とし、研修会を行った。

【講話】「庄原市における生徒指導上の諸課題の現状と課題について」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 末田 和也

庄原市の生徒指導上の諸課題について、令和6年度の全国や広島県の実態と比較しながら説明した。

- ・令和6年度全国のいじめの認知件数や暴力行為の発生件数、不登校児童生徒数は過去最多となっている。
- ・本市小・中学校においては、不登校児童生徒数は増加傾向であり、引き続き深刻な課題である。
- ・いじめの認知件数や暴力行為は減少傾向にあるが、事案に対して早期対応、事案を未然に防止する取組等「チーム学校」として組織的な対応が求められている。

【報告】「令和7年度教育相談基幹研修を終えて」

庄原市立山内小学校 養護教諭 竹本 亜樹子



令和7年度教育相談基幹研修の受講内容や研修を受けた自校での取組について報告をした。

- ・教育相談は子供たちの将来の自己実現に向けて生徒指導と一体的に全教職員で取り組むことが必要である。
- ・児童生徒理解（アセスメント）が重要となり、K-BPSシート（アセスメントシート）を活用し、児童生徒の気になったことについて複数人で共有し情報を整理することが大切となる。
- ・日常的な変化に気付くために「その子のいつもを知る」取組や職員研修を通して子供たちが安心して登校に向けるような声掛けの仕方を実践している。

【講話・演習】「児童生徒のSOSに向き合うための日常的な生徒指導について」

広島県北部教育事務所 教育指導課 指導主事 砂走 愛

今年改定された「広島県いじめ防止基本方針」の改定の経緯や内容をもとに、生徒指導主事等に求められる資質・能力について講話・演習を行った。

- ・「広島県いじめ防止基本方針」を貫く“三つの矢”として、「児童生徒の成長と発達を支える確かな生徒指導の推進」「いじめの重大事態への適切な対応と学校における平時の備え」「いじめ防止委員会の機能化」の充実が求められている。
- ・いじめの未然防止や早期発見に向けて、全教職員が感度を高くし、同じ方向性をもって児童生徒と関わられるよう、校内研修会等を通して、組織として対応していく取組を進める必要がある。



（事後アンケートより）

- ・普段から児童生徒の様子に気を配り、ちょっとした変化やサインに気付くことができるようになっておくことが大切だと改めて感じました。また、このことを全教職員が自覚しておけるように働きかけていきたいです。
- ・夏季休業中に生徒指導に係る校内研修を行い、全生徒が安心して安全に過ごせる学校にしていきたいために、教職員の意識統一を図りたいです。